

# 認知症対応マニュアル

文書作成日 2021/5/23	利用者の状況	使って良い言葉	良い行動	使ってはいけない言葉	よくない行動	ポイント・意味
	帰宅願望 「家に帰る」	例1 「そうだよねえ。うちに帰りたいよね。 「おうちはどこなんですか？」 「赤塚なんすねえ。赤塚はいいところですよ。」 「赤塚には、いいお店があるんですか？教えて下さいよ。」 例2 「そうだよねえ。うちに帰りたいよねえ。」 「そのお家は、ご主人が建てたんですか？」 「ご主人は、すごい人すねえ。すごい家を建ててくれてね。」 「でも、そんな素敵なご主人なのは、奥様の〇〇さんが素敵だからですよ。」 「あちで、美味しいお茶でも飲みましょう。」 「もう遅いので、明日にしましょうか。」 「明日、娘さんが迎えに来るから、待ってましょね。」	まずは、共感する。 〇〇〇さんへ 娘さんが帰るまでここで待っていてください。と言った張り紙を玄関の見える場所にはる。 利用者の発した言葉の名詞に注目して、その名詞に関する質問をして、話を広げていくことで、帰りたいということ を忘れることもある。 最後に利用者本人を褒めると気分がよくなり 落ち着く場合が多い。  外出や散歩にたくさん行きましょ。 徘徊の多い方の場合には、会社及びスタッフの携帯に顔写真、全身の写真を保存しておきましょ。行方不明になっ た時に便利です。 よく着る上着のウラに氏名、施設名、電話番号を縫い付けましょ  良い言葉を使ってもダメな場合は、近所を 一緒につかれるまで散歩する。その際は 必ず携帯電話を携帯して、長時間になった場合に ヘルプの電話をかける。	「家には帰れません。」 「家に帰ってはいけません。」	日中なのに玄関の鍵をかけて、閉じ込める。	
	物盗られ妄想 「お金がない」 「あなたが、お金をとったでしょ？」	「一緒に探しましょ」 「ここで預っていますよ。必要なときはいつでもいってくださいね。」 「娘さんが持っているから大丈夫ですよ。」 「一緒に探しましょ」 「ここで預っていますよ。必要なときはいつでもいってくださいね。」 「娘さんが持っているから大丈夫ですよ。」	一緒に探す。  見つかったら、利用者にわかるようにして、利用者が発見したようにする。		見つかったら、スタッフが見つけたことにする。	スタッフが見つけると、「やっぱり、あなたがとっていたのね。」とさらに泥棒扱いになるので、利用者見つけたようにする。
	幻視 「あそこに誰がいる」実際はいない。	「誰か居るんだね。」「こわいよね」 「私がなんとかしてあげるから、安心してね。」 「私は〇〇さんの味方だからね。」	気持ちに共感する。 話のつじつまを合わせる。 追い払ったりする態度を見せる。 照明を明るくする。 壁のシミ等が原因なら、取り除く。 視力低下が考えられるので、眼科を受診する。	「私じゃありません。」 「どこかにしまい忘れたんじゃないの？」 「自分で隠したんじゃないの？」		
	昼夜逆転 夜中なのに、「おはよう。」と起きてきて、騒いだりする。	「今は、夜ですよ。」	外に連れて行って、暗いことを感じてもらい、夜であることを説明する。  室内が寒かったり、暑かったりすると眠れないので、適温に調整する。  本人が好むようであれば、隣と一緒に寝るふりをする。 軽食や温かい飲み物をあげましょ。 納得しない場合は、あきらめて、一緒に楽しく過ごす。 室内の照明をつけておく。	外を見せないまま「夜だから、寝てください」という。	外の暗い感じを見せない。  興奮するようなテレビは見せない  暑すぎる、寒すぎる室温	自分の感覚で感じない限り、納得はしないので、室内で説明しても難しい。 連日続くようであれば、日中の活動量が少ない証拠なので、日中に外出や運動、レクリエーションなどをを行い、適度な疲労を感じるように対処する。
	短期記憶障害 「ご飯食べてない。」	「おなかすきましたねえ」 「一緒におやつを食べましょか。」 「食事は、あの時計が、〇時になったら、食べれますよ。」 「今、丁度、食事の準備をしていますよ。」	最初に共感する言葉をかける。 糖尿病や高度の肥満がなければ、お菓子や軽食を食べていただく。他の利用者にわからないように配慮する。 別室で、一緒にお茶を飲みながら、おやつを食べる。  食事の準備をしているところをみてもらう。	「今、たべたよ。」		
	何度も同じ事を質問する 「今日は何日？」	「〇月〇日ですよ。」	カレンダーを指さしながら。 聞いたことを忘れてるので、始めた聞いたように何度も返答すること。 日めくりカレンダーを目の付く場所に飾る。 カレンダーに〇をつける。	「何度も聞かないで。」		
	同じ事を何度も繰り返す。 「トイレに行く。」(さっきも行ったばかり)	1, 2回は、要求通りにトイレへ誘導するが、回数が多く、尿がでない場合には、 「〇分前に行ったので、〇時になったら行きましょ。」	尿意を何度も訴える場合は、膀胱炎や前立腺肥大(男性、神経因性膀胱の場合があるので、泌尿器科を受診する。 水分摂取を促し、陰部洗浄を実施して、陰部の清潔にする。 90度座位姿勢をきちんととり、足底を床につけて腹圧をかけやすい姿勢をとる。 下腹部を押して、残尿を減らす。 他に集中できる楽しみがあると、頻尿が改善することもある。	「さっきも行ったでしょ。」		

**対応の基本原則**

1. 味方になる。
2. プライドを傷つけない。
3. 否定的な言葉を使わない。
4. 共感する。
5. ボディタッチをする。
6. 目線の高さを低くする。
7. 真正面に立たない。
8. 笑顔でゆっくり短く話す。
9. 名前をたくさん呼ぶ。
10. スタッフの気持ちは伝わる。